



# 漕艇部

■ 1902年(明治35年)公認

部員数

65名



部長  
松居辰則  
人間科学学術院  
教授



監督  
阿二真樹



主将  
小山知起  
創造理工学部  
早稲田実業

「相手は世界である」。このことは私が常に申し上げていることです。このことを常に意識して、日々の練習やレース、部の運営、学業、社会貢献活動等に取り組むことで、グローバルに活躍する人材として成長していただくと信じております。創設順位3位、120年の歴史と文化の継承も部の大きな役割です。2025年度は早慶レガッタでの全種目勝利、インカレでの全種目決勝進出、そして10年ぶりの男子エイトの優勝を勝ち取ることができました。素晴らしい結果でした。さらなる成長を楽しみにしております。【競技力・組織力・文武両道力・人間的力】のすべてにおいて最強のチームを目指して頑張っており、皆様からのご声援を心よりお待ちしております。

みんな、卒業おめでとう。4年間、ゴールを目指して一心に努力し続けた日々は、将来振り返ると本当にかげがえのない時間だったことに気づくはず。そして最終学年でのインカレ男子エイト優勝、女子総合2位という素晴らしい結果。あの日の歓喜と誇りは、私の人生にとって宝物です。私もこの節目で監督を退任しましたが、君たちと一緒に最後のレースを迎えられたことを、心から誇りに思っています。そして、これからそれぞれの軌路を進んでいく君たちが、どんな荒波にも負けず、自分の力で人生を生き切っていくことを信じています。ありがとう。そして、これからもずっと応援しています。

今年度はスローガン「To Win」の下、部員全員で「勝つための練習と生活に取り組み、創部123年での初となる早慶レガッタ完全優勝とインカレ男子エイト優勝を同時に達成しました。この成果の裏には二つの改革がありました。一つ目は練習の可視化です。冬は漕距離を、シーズン中はスピードを毎日公表し、成長を定量的に把握することで持続的な成長に繋がりました。二つ目は生活習慣の徹底です。寮の掃除や食事、就寝時間まで丁寧な生活を貫きました。これらの改革が結果にどれほど影響したかは分かりませんが、「勝ち」への意識が部の雰囲気を変え、「勝てるチーム」へと導きました。後輩達も自分たちならではの方法で結果を追い求めることを期待しています。



女子主将  
加藤真奈  
スポーツ科学部  
浜松西



主務  
元山 怜  
文化構想学部  
早稲田実業

漕艇部で過ごした日々は、仲間とともにボートに向き合い続けた、かけがえのない時間です。ともに戦ってくれた仲間、支えてくださったすべての方々に、心より御礼申し上げます。今シーズンは「To Win」というチーム目標のもと、インカレ優勝に向け、日々頑張っていました。OB・OGの皆さまからの多大なるご支援、並びに監督・コーチの皆さまのご尽力により、チームとして大きく成長することができた一年だったと実感しております。早慶戦では完全優勝を果たすことができましたが、インカレでは女子総合2位という結果にとどまり、非常に悔しい結果となりました。これからの後輩たちの活躍を心より願ひ、応援してまいります。

主務として過ごした日々は、表に出ない仕事の積み重ねでした。調整や準備、判断の中で、チームを少しでも前へ進めることを考えてきました。理想と現実の間で迷うこともありましたが、そのたびに責任の重さを感じ、仲間の姿に励まされました。誰かの努力が報われる瞬間に、仕事の意味を実感できたことは何よりの喜びです。艇を見送るたびに、自分たちも同じ方向を見つめ、同じ目標を信じていました。全員がそれぞれの場所で責任を果たすからこそ、組織は進む。そう実感できたこの環境に深く感謝しています。静かな朝も、緊張に満ちたレースの日も、すべてが自分を形づくってくれました。早稲田漕艇部で過ごした時間を、感謝と誇りを胸に刻みます。



- 漕月(スポ科2)・岡部秀磨(社学2)・平賀俊丞(スポ科2)・岡山凜之(スポ科4)・原田耀輔(スポ科4)・宮澤光樹(スポ科2)
- ◇第65回オックスフォード盾レガッタ (9月3日～7日)
  - 男子エイト 第3位
    - ▷小堀・宮城島・池浦・中川・青山・山口・小山・齋藤素也・平田
- ◇第66回全日本新人ローイング選手権大会 (10月31日～11月2日)
  - 男子ダブルスカル 敗者復活戦4組3着
    - ▷齋藤・熊野
  - 男子舵手付きフォア 準決勝3組4着
    - ▷井上・宮城島・平田・中川・池浦
  - 男子エイト 第2位
    - ▷高橋・林田・宮澤・平賀・岡部・青山・杉谷・木下・白山

- 女子ダブルスカル 第8位
  - ▷村田・吉田
- 女子軽量級ダブルスカル 第6位
  - ▷横田・近藤
- ◇第52回全日本大学ローイング選手権大会 (9月3日～7日)
  - 女子シングルスカル 準優勝
    - ▷緒方美奈
  - 女子ダブルスカル 第3位
    - ▷加藤・小野
  - 女子ペア 第6位
    - ▷横田・吉田
  - 女子舵手付きフォア 第4位
    - ▷高橋快秀・猪野・渡辺・村田・近藤
- ◇第66回全日本新人ローイング選手権大会 (10月31日～11月2日)

- (女子)
- ◇第94回早慶対校競漕大会 (4月13日)
  - 女子対校エイト 優勝(50勝9敗)
    - ▷小堀・横田・加藤・小野寺・小野・村田・近藤・緒方・吉田
- ◇第103全日本ローイング選手権大会 (5月22日～25日)
  - 女子クォドルプル 第5位
    - ▷小野寺・加藤・緒方・小野

## 本年度試合戦績

成績(早稲田勝利:○、引き分け△、敗戦●)

(男子)

- ◇第94回早慶対校競漕大会 (4月13日)
  - 男子対校エイト 優勝(50勝42敗1分)
    - ▷前田・岡山・小山・沢目・亀田・宮澤・川上・満園・原田
  - 男子第二エイト 優勝(26勝34敗)
    - ▷片岡・平賀・佐藤・木下・岡部・青山・宮城島・齋藤・白山
- ◇第103全日本ローイング選手権大会 (5月22日～25日)
  - 男子エイト 第6位
    - ▷前田・川上・宮澤・林田・岡山・小山・佐藤・原田・満園
  - 男子フォア 第6位
    - ▷亀田・岡部・木下・沢目
  - 男子ペア 準優勝
    - ▷平賀・白山

男子シングルスカル 棄権  
▷杉谷太規

- ◇2025 World Rowing Under 23 Championships (7月23日～27日)
- 男子ダブルスカル 第20位
  - ◇川上・石川(日本大学)
- ◇第52回全日本大学ローイング選手権大会 (9月3日～7日)
  - 男子フォア 第6位
    - ▷佐藤・木下・齋藤智規・白山
  - 男子舵手付きフォア 第3位
    - ▷片岡・川上・杉谷・亀田・沢目
  - 男子エイト 優勝
    - ▷前田蓮(文4)・小山知起(創理4)・満園脩吾(スポ科4)・林田